

2020年12月18日現在

小田 隆史(おだ たかし) プロフィール

○所属:宮城教育大学 防災教育研修機構 副機構長・准教授

○略歴:外務省専門調査員として在サンフランシスコ日本国総領事館に在勤後、米カリフォルニア大学バークレー校フルブライト研究員、日本学術振興会特別研究員PD(お茶の水女子大学 地理学教室)、お茶の水女子大学シミュレーション科学教育研究センター助教などを経て2017年から現職。地理学を専門とし、学校防災、防災教育、都市問題等を研究。東日本大震災後は、復興支援や防災に関する調査研究に従事。福島県いわき市出身。東北大学大学院修了・博士(環境科学)。

○メッセージ:2013年に宮城教育大学に新設した全学必修の防災教育科目に加え、学校防災関連科目を新設。教職大学院と兼務し、教職課程の学生や現職教員の防災力向上のための研修を展開し、震災遺構を防災学習に活用する学校支援プログラムを開発し、防災教育研修機構<通称:311いのちを守る教育研修機構>の新設に携わりました。海外経験を活かし、近年、JICA研修等を通じて、海外における防災人材育成にも力を入れています。

○専門領域:1. 生活安全 2. 交通安全 3. **災害安全** 4. 安全教育一般 5. その他(地理学)

○キーワード:学校防災、防災教育、学校と地域の連携、ハザードマップ、災害時の通信

受賞:

2004年 東北大学総長賞
2008年 フルブライト交流計画博士論文研究プログラム全額支給奨学生
2011年 東北地理学会研究奨励賞(長谷川賞)

連携機関:国立研究開発法人防災科学技術研究所 災害過程研究部門 客員研究員

主な学会:日本安全教育学会(理事、編集委員)、東北地理学会(評議員・幹事)、日本自然災害学会、日本地理学会、日本地球惑星科学連合

主な委員歴:

- 宮城県震災復興推進課 東日本大震災の記憶・教訓伝承のあり方検討有識者会議 委員
- 東京消防庁 都民防災教育センターの多言語化等調査委員会 委員
- 復興庁 東日本大震災被災者の生活復興プロジェクト 生活復興委員会ワーキングチーム 委員
- 仙台市 広瀬川創生プラン策定推進協議会 会長代理

主な著書:

- 小田隆史 編著『教師のための防災学習帳』(朝倉書店, 2021年3月刊行)

主な研究:

- 小田隆史, 消防士が住めない街サンフランシスコ——住宅価格が高騰する都市の災害リスク, 『歴史と地理』(地理の研究198), 山川出版社, 第713号, 図巻頭1p, pp.46-57(2018)

- ・ 小田隆史, 身近な地域の理解を通じた防災/地球規模課題としての災害 : 高校「地理総合」への期待, *新地理*, 66(2), pp.92-99 (2018)
- ・ 小田隆史, 「3・11震災伝承と防災教育——いのちを守るリテラシー向上のために」, 『震災学』vol.13, pp96-105, 荒蝦夷 (2019).
- ・ 小田隆史・梨本雄太郎・大林要介・高見秀太朗・瀧木智之, 震災遺構を活用した探究型防災学習の実践支援—仙台市若林区荒浜地区の「いのち」と「くらし」の学びに焦点を当てて, 宮城教育大学紀要, Vol.54, pp.449-458(2020)
- ・ 小田隆史・桜井愛子・村山良之・佐藤健・北浦早苗・加賀谷碧, 教員の地図リテラシー育成とハザード理解に向けた学校防災研修—宮城県石巻市における試行から, 安全教育学研究 第 20 卷 第1号, pp.27-36, (2020).

主な講演: <担当した行政機関等の教員・職員研修> (防災分野)

- ・ 独立行政法人教職員支援機構(校長、副校長・教頭、中堅)
- ・ 仙台市教育センター
- ・ 宮城県総合教育センター
- ・ 大崎市教育委員会
- ・ 石巻市教育委員会
- ・ 東京都教職員研修センター
- ・ 気仙沼市
- ・ 南三陸町
- ・ 大崎市
- ・ 鳥取県教育センター
- ・ 独立行政法人国際協力機構(JICA)研修(防災／教育行政官研修)
- ・ タイ教育省国立教職員開発研究所
- ・ アジア工科大学院大学(AIT・タイ)客員准教授 ほか

○メールアドレス:

oda.tak [at] staff.miyakyo-u.ac.jp
[at]を半角@にしてください。



ホームページ:

<https://researchmap.jp/read0150359>